

みなみかぜ

瀬田南幼稚園だより

令和5年11月21日
 大津市立瀬田南幼稚園
 園長 平木 秀樹

厳しい残暑が嘘だったかのような急激な秋の深まりに戸惑う毎日です。吹きつける風の冷たさに思わず身を固くしてしまうことが多いですが、穏やかな日差しの日には、残り少ない秋の自然が十分味わえるようにしていきたいと思います。

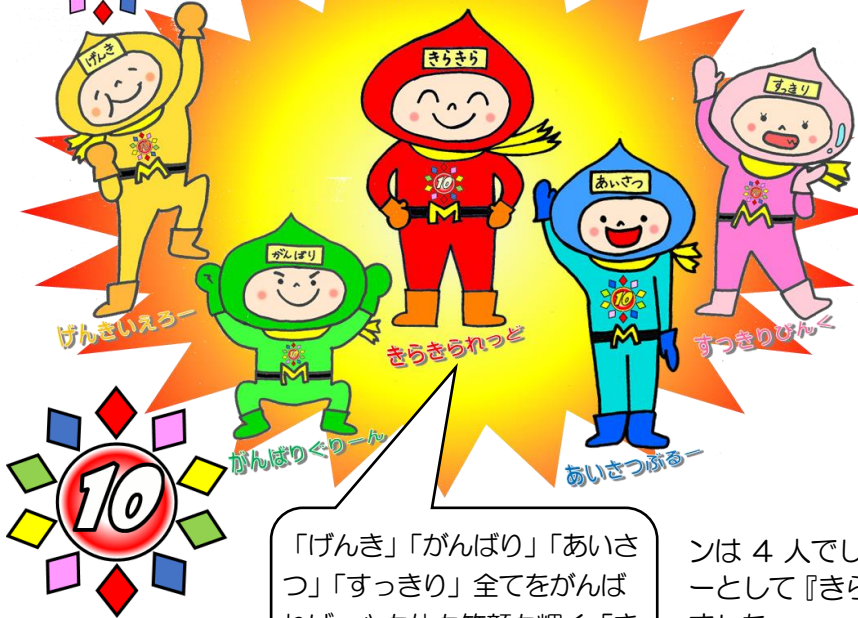
2学期もあとひと月余りとなりました。これから寒さがますます厳しくなってきますが、健康に気をつけながら、一人ひとりの子どもたちが充実した日々を過ごせるよう努めていきたいと思っています。



「みなみっこマン」が「みなみっこレンジャー」にパワーアップしました！

みなみっこひろば10年目を迎えてパワーアップ！！

われら、みなみっこれんじゃー！



これまで、みなみっこひろばの生活習慣キャラクターとして親しまれてきた4人のみなみっこマン！先週的生活習慣ウィークから、『あいさつマン』の人形を片手に子ども達に挨拶をしていると、これまで以上に笑顔で挨拶してくれる子ども達が増えて、みなみっこマンの“人気”と“偉大さ”を実感しています。

明日からの作品展でもご紹介をしているのですが、みなみっこひろばが10年目を迎えたことを記念して、『みなみっこマン』を『みなみっこレンジャー』としてリニューアル&パワーアップすることにしました。みなみっこマンは4人でしたが、レンジャーでは新たにリーダーとして『きらきらレッド』が誕生し、5人となりました。

きらきらレッドは、これまでの「げんき」「がんばり」「あいさつ」「すっきり」を全て兼ね備えたキャラクターです！子ども達がしっかりと生活習慣を身につけ、心も体も笑顔もキラキラ輝いてくれることを願ってのネーミングです。みなみっこひろばの歌の出だしにある「きらきらきらとさんさんと」という歌詞も由来のひとつです。

これからみなみっこマン以上に子ども達から親しまれ、成長を助けてくれるキャラクターとして活躍していってほしいと思っています。

胸に輝くこのエンブレムがレンジャーの証しです！

「げんき」「がんばり」「あいさつ」「すっきり」全てをがんばれば、心も体も笑顔も輝く「きらきらレッド」



子ども達の元気な挨拶を聞くとうれしくてハートが飛び出すあいさつマン！

← 元気に挨拶をしてくれる子どもが増えましたよ。



いっぱいいっぱい頭を働かせて

5歳児そら組では、木片を組み合わせてボンドで貼り付けたり、釘を打ち付けたりして家や乗り物など思い思いの物を作っています。そこでは、子どもたちなりの色々な工夫や試行錯誤が見られ、遊びの中で子ども達がいっぱい頭を働かせていることがわかります。

Aくんは、少し背の高い塔のようなものを作っていたのですが、塔と塔の間に板を渡したいようで、ボンドで付けようとしていました。けれどもボンドは固まるまでに時間がかかるため板が重みですぐに落ちてしまいます。初めは別の木片を板の下に置いて支えようと考えますが、少し大きすぎるようでした。今度は、別の木を板の横に貼りつけて支えようとしていますが、それでも落ちてきてしまいます。「できひんな・・・」とつぶやいたAくんの声を聞いて、近くで作っていたBくんが様子を見にきて何やらアドバイスをしてくれました。Aくんは別の木片を探しに行って、短く切った割り箸を選ぶと先ほどの木片につなぎ、板を支えました。すると、上手く板を支えることができ、満足そうにその様子をしばらく見つめていたのです。

何度も何度も貼り直している様子を見て、手を貸そうかと迷ったのですが、あきらめずに頑張っているAくんを見守ることにしました。さすが4歳児だけあって、すぐにあきらめない姿には感心しましたし、Aくんのつぶやきを聞いてアドバイスをしに来てくれたBくんの姿にも感動しました。このように試行錯誤してできた喜びを味わう経験が、「手応え」や「自信」、「自尊感情」として子ども達の心の中に溜め込まれていくとともに、次の遊びへの意欲につながっていくのだと思います。また、自分を助けてくれる友達がいてくれることへの喜びや安心感にもつながっていくことなのでしょうね。作品展では、子ども達の作品からそのような子ども達の苦労や工夫、できた喜びなどを感じ取ってもらえると嬉しいです。



Aくんのつぶやきを聞いてBくんがアドバイス！



板の下に割り箸を付けてようやく板を渡すことができました。

みなみかぜへのご感想、ありがとうございます。

みなみかぜへのご感想をありがとうございました。いただいたご感想の一部をご紹介します。運動会での子ども達のがんばりや成長を感じ取っていただけたようでうれしく思います。

「みなみかぜ」いつも楽しく読ませていただいております。幼稚園児の気持ちが具体的に書かれていて子どもの成長過程などわかりやすく、読みながら「なるほど～！」と思っています。

運動会後は、いろいろなお友達の話や芋掘りをして「お芋食べたよ」とか幼稚園で習った歌を歌ってくれたり、いろいろ話してくれるようになり、前より充実しているように見えます。運動会をお友達とやりきったことで、友達との仲が深まっていろいろ楽しんで過ごせるようになったのかな？

(運動会が)終わった後に本人は「途中でやめちゃったりもしたけど、最後までがんばったよ」言っていました。先生にそんな感じの言葉をかけてもらったのかなという気がするのですが、先生方はいつもその子がどんな状況でも否定せず、受け止め認めていただいているので、本当にありがたいと思います。親としても他の子と比べるのではなく、できたことや本人のがんばったところを見てあげたいと思います。

運動会後もがんばったところや妹にダンスを教えたりと家でもしています。メダルがもらえてとっても喜んでいました。あきらめずにやる姿や自分がでていない時でもベンチで応援している姿もステキで成長したなと思いました。そして、運動会後に保育園の先生に「鉄棒がんばってた〇〇くんだよね?」「ベンチからの応援がステキだったので覚えています」と言ってもらえて本人も喜んでいました。

子ども達の生活習慣、作品展、その他何でも結構です。最近のお子さんの様子やご感想をお聞かせください。

みなみかぜ ご感想

お名前